

ましこの里山で見つける

私らしい「農ある暮らし」



ましこ農の学校

1. ましこ農の学校とは？

ましこ農の学校とは、益子町の農業の担い手や支え手となることを目的とし、週末に本格的な野菜栽培の技術・知識の基礎を学びながら益子の暮らしや文化を体感できる学校です。老若男女問わず、新規就農、半農半X、移住、田舎暮らしといった農あるライフスタイルを目指す社会人の方々を対象とし、交流しながら学ぶ学校です。

初めての土地で「農ある暮らし」を実現するためには農地の確保や地域の人とコミュニケーションなどハードルがたくさんあります。益子町では農政課が地域との架け橋となり、一人ひとりに寄り添って移住を応援します。



ましこ農の学校ではこのような方を募集しています

- 益子で新規就農を目指す人
- 半農半Xや益子への移住、自給自足を目指す人
- 食や健康、益子での暮らしに関心がある人

2. ましこ農の学校の5つの特徴

◆特徴 1

今の仕事を辞めずに週末に本格的な農業が学べる

週末だけの授業

月2回、週末だけで必要な技術・知識が本格的に学べます。

◆特徴 2

初心者でも基礎から農業技術・知識が学べる

実習と座学

実習（栽培技術）と座学で野菜栽培が学べるカリキュラムを用意しました。

◆特徴 3

益子での「暮らし」を体感できる

農家視察

益子には米、いちご、梨やぶどうの果樹、少量多品目の農家さんがいらっしゃいます。ご希望の農家さんを視察し、リアルな声を聞くことによって益子での農ある暮らしがより現実に近い近づきます。

◆特徴 4

ましこならではの農業（生産・加工・販売）を学べる

加工品セミナーやマルシェ販売実習

益子加工センターでは、加工品を上手に製造、販売するコツを学んだり道の駅ましこで育てた野菜を受講生自らが販売できるマルシェを独自開催。1年間で人様に販売できるレベルの野菜を育てられることがゴールです。

◆特徴 5

第一歩を踏み出すための卒業後のサポート体制

無料「再受講」制度

卒業後1年間は無償で再受講可能。2年目からの実践を踏まえて、もう一度同じ話を聞くと、新たな気づきが多々あります。

農地、研修先、住まいの紹介

関係機関と連携した農政課がワンストップ窓口となり農地や空きハウス、研修先、住居などの紹介を行います。

3. ましこ農の学校の目指すもの

ましこ農の学校が目指すものは、学校での授業を通して必要な知識、技術、そして価値を伝え、益子町で農業の担い手や支え手になっていただくことです。とはいえ、ましこ農の学校の1年間の授業は、あくまで準備運動です。

1年目は「ましこ農の学校」でしっかり学び、さらに2年目の再受講（1年間無料）を経て、3年目には方向性や小さな成果が見えてくる・・・よく考えて、自分のペースで進んでいていただければと思います。